



# はつらつ 通信



Vol. 121  
2014.1.1

●発行 医療法人北志会 札幌ライラック病院  
●編集 はつらつ通信局

## 謹賀新年



皆様におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、医療機関の外部監査機関である公益財団法人「日本医療機能評価機構」による病院機能評価を受審し、昨年7月に豊平区で6番目の認可病院となることができました。地域の皆様からのご意見、ご指導を頂きながら職員一丸となり「医療の質」向上を目指して積み重ねた結果であり、大切なのは認可自体ではなく「継続して改善していくこと」と肝に銘じ、今年も努力を続けてまいります。そして、当院の理念である「安心・信頼・満足」の着実な積み重ねこそが地域から愛され、頼りにされる病院づくりの礎であると確信し、本年も職員とともに取り組んでまいります。

最後になりましたが、地域住民皆様のご多幸を祈願申し上げますとともに、今年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

医療法人北志会 理事長 志田 一彦



# 足の病気から守りたい 防するフットケア



足浴、ツメや足裏の皮膚のケア、足のマッサージのほか、気になるところがあればハンドケアもプラス。抱き枕はリラックスしていただくための配慮

の小さなトラブルが、潰瘍や壊疽という大きな病気に進行してしまいます。そのため、糖尿病治療ではフットケアを重視しています。

## 糖尿病の治療に不可欠なフットケア

生活習慣病の代表的な疾患、糖尿病。札幌ライラック病院は糖尿病専門医である本庄院長の着任以来、糖尿病の治療に加え、糖尿病教室や地域での講演、イベントへのブース出展といった情報発信と予防啓発にも力を入れ、国民病とも呼ばれる糖尿

病の予防・治療に総合的に取り組んでいます。

その一環として、昨年11月に外来で糖尿病足病変を予防・治療するフットケアを行う体制を整えました。足病変とは、糖尿病で高血糖状態が続くことで起きる血流障害や免疫力低下による合併症のひとつ。感覚が鈍り、感染症にも弱くなっているため、ささいな靴擦れやたこ、水虫など足

## 世界的に多い足病変 30秒に一人が足切断

当院のフットケアは、医師の指示のもとで専門研修を受けた看護師が行います。担当するのは山崎あけ美看護師。「世界では30秒に一人が足病変で足を切断している(※)」と研修で聞き、フットケアの重要性を改め



音叉による振動で足の感覚を診断



フットケアのツール。左のふたつは感覚の検査用

### 札幌ライラック病院を受診される皆様にご協力いただきたいこと

1. 心身の健康に関する情報について担当者にお伝えください。
2. 医療者の説明が不十分な時には、十分理解できるまで質問してください。
3. 治療やケアの方針を決める時には、ご遠慮なく医療者と話し合ってください。
4. 医療者と共につくった治療やケアの計画に積極的に参加してください。
5. 院内では常識的な社会人として行動してくださるようお願いいたします。
6. 札幌ライラック病院は全館禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。
7. 札幌ライラック病院では、各階に意見箱を設置しています。ご意見やご希望がありましたら、ご遠慮なくご利用ください。



# 糖尿病の患者さま 病変を予



マッサージオイルで室内は心地よい香り

## フットケアを通して 深める全人的な理解

「実感しました」と語ります。フットケアを行うのは診察室や処置室とは少し離れた個室。室内にはアロマオイルが香り、マンツーマンでお話を伺いながら、末端神経の感覚検査やツメなどのケアを行います。

「従来の忙しい外来とは違って、お一人の患者さまとじっくりお話できるフットケアは、患者さまの理解を深められますね」と山崎看護師。フットケアだけにとどまらず、リラクゼーションなどいただくために手足のマッサージなども採り入れながら、糖尿病の患者さま

## ご予約不要の無料講座 好評です、糖尿病教室

糖尿病の専門医はもちろん、看護師や薬剤師、管理栄養士など、さまざまなスタッフが、糖尿病に関するそれぞれの専門分野からの知見を、1コマ30分ほどのコンパクトな講話でお伝えしています。

お気軽に  
ご参加を!

### ●今後の開講予定

#### 1月28日(火) 午後2時～

- ・合併症 (講師:医師)
- ・食事療法 (講師:管理栄養士)

#### 2月25日(火) 午後2時～

- ・高齢者の糖尿病治療 (講師:医師)
- ・運動療法 (講師:理学療法士)

場所: 管理棟3階 会議室 (エントランス右のエレベーターをご利用ください)

まを全人的にケアしていくことを考えています。昨年11月の糖尿病教室では、山崎看護師がフットケアについて講話を行

いました。今後は、糖尿病足病変についてより広く知ってもらうために、山崎看護師が活躍する場面が増えそ



室内の壁を用いて糖尿病の情報提供

(※)日本人の切断率は世界的には低めです。室内で靴を脱ぎ、入浴を好む生活文化や、白人に比べ体重負荷が少なく、下肢の動脈硬化が少ないアジア人の体質が影響しているといわれています。しかし、近年日本では透析を受ける末期糖尿病性腎症の増加もあり、足病変のリスクは高まっています。

## 医療法人北志会

### 基本理念

私たちは、地域における病院使命を果たすうえで、「安心・信頼・満足」を目指し、より良い医療サービス実践のため日々研磨します。

### 基本方針

- 一. 患者様の生命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
- 二. 専門の医療を提供し、安心して療養に専念できる環境を整備します。
- 三. 職員は、責任と誇りを持ち、日々創意工夫し、専門職としての使命を果たします。
- 四. 在宅ケアと医療が連携し、チームとして地域住民の健康・保健・福祉に貢献します。



日本医療機能評価機構  
認定第 JC1927 号

# 今期より看護学生の実習受け入れをスタート 看護師を目指す学びの場に



入浴に向かう患者さまを搬送

## 資格取得を目指す 看護学生を支援

医療系の国家試験を受験する学生の教育課程に不可欠な科目のひとつが医療機関での実習です。当院では毎年看護週間に高校生の看護1日体験を行っています。より一層の職業教育への貢献を目指し、今年からは看護学生の実習受け入れをスタートさせました。初回実習は11月11日(月)から。札幌青葉学園北海道看護専門学



患者さまとコミュニケーション

校2年生の実習生2名と教員1名が3週間に来院し、当院の指導看護師2名とともに「老年Ⅱ実習」を行いました。期間中は、毎朝行動計画を提出し、その日に行う具体的な看護内容をタイムテーブルにしてリストアップ。同時に担当する患者さま1名の看護計画の作成と実践も行いました。

密度の高い実習を終えた学生からは、「自分に余裕がないとケアでの笑顔が減ります。自己管理ができないと人のケアもできないと感じました」との感想が聞かれました。

## 3週間の実習を 継続的に受け入れ



行動計画を看護師や教員と検討

実習生には常に指導看護師か看護師資格を持つ教員が付き添い、実習を見守りながら指導します。成績によっては不合格・追加実習もあり得るため、学生にも当院側にも高校生の看護体験と全く違う緊張感があり、病棟の看護師は「私たちも勉強になります」と話していました。

初の実習受け入れ終了後の翌週、12月2日(月)からは次の実習生4名が来院。年が明けてからの実習もすでに決定しています。今後も限られた人的資源を調整しながら指導看護師を配置し、継続的に実習生を受け入れていく予定です。

札幌ライラック病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
5. 身体的なことだけではなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

内科、消化器内科、整形外科、神経内科、内視鏡内科、糖尿病・代謝内科、麻酔科、リハビリテーション科

### 受付時間

平日 9:00~12:30 13:30~17:00

土曜 9:00~12:00 午後休診

※但し急患の方は上記に限らず随時受付いたします。

### 面会時間

14:00~20:00

### ホームページ

<http://www.lilac.or.jp/>



医療法人 北志会



札幌ライラック病院

札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号  
TEL(011)812-8822

## デイケアの ボランティアさん 募集中!

こんな活動をしてみませんか?

- ①お茶出しや食事の配膳の手伝い、お話し相手
- ②書道や絵手紙など趣味活動の講師役、特技の発表

活動時間 ①9:30~12:30 ②14:00~15:00

お問い合わせはデイケア・中田まで